



議会だより

かつらぎ

Gikai 2021.8 (令和3年)

発行／和歌山県かつらぎ町議会
編集／議会だより編集特別委員会

90号



お家で議会傍聴

主な内容

かつらぎ町産の農産物・加工品送料を支援 ふるさと応援便 3ページ

新型コロナワクチンを 希望する町民の皆さんへ 6ページ

議会映像配信スタート 14ページ

一般質問 町民のおもいを届ける60分 16ページ

新型コロナウイルス感染症対策を予算化

4月会議

4月会議(4/21~23)	
補正予算	3件
規則	1件

4月21日、新型コロナウイルス感染症対策の地方創生臨時交付金1億5462万2000円を軸に、総額1億7861万3000円の予算が組まれ、議会に提出された。議案は全員賛成で可決された。この予算によって公金クレジットカード決済導入、庁舎トイレ改修、証明書コンビニ交付サービス、農産物販売促進、中学校トイレ改修、通信ネットワーク整備などの各事業が実施される。

一般会計補正予算

公金クレジットカード決済導入

概要

令和4年度から住民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、住宅使用料についてクレジットカードを使用して納付できるサービスを開始する。町がクレジット決済会社に手数料として月3万5000円を支払う。住民がクレジットカードで納付するときは、1万円未満ごとに1・1%の手数料を支払う。なお、水道料金と下水道使用料も同様のサービスが実施される。

証明書コンビニ交付サービス

概要

令和4年度からマイナンバーカードを利用し、コンビニなどのキオスク端末（マルチコピー機）で写しの交付を受けることができるサービスを開始する。取得できる写しは、住民票と印鑑証明書の2つ。

問 コンビニ交付の仕組みは。

住民福祉課長 コンビニ

の端末（マルチコピー機）で住民票の交付をマイナンバーカードで行う。プリントアウトした端末に情報は残らないし、証明用データは削除される。利用者情報は開示しない。



中学校トイレ改修

概要

コロナ対策として便器の洋式化と蛇口のオートストップ化を実施する。これによって笠田中学校29基（洋式化率78%）と妙寺中学校45基（洋式化率73・4%）が改修される。



問 便器の洋式化の具体的な考え方は。

参事（建設・産業担当）

トイレブースを検討し、できるところから実施することとなった。トイレ全てをやり替えることを今回は検討しなかった。

問 最終目標は。

教育総務課長 100%を目指したい。

問 直接便器に接触したくないなどの児童生徒の要望や衛生面を考慮すべきでは。

教育総務課長 今後、子どもたちの要望や衛生面を考慮したい。



たけだ しょう
武田 遼さん
(妙寺中学校3年)

和式トイレで不便なこともありましたが、洋式トイレになるととてもうれしいです。ありがとうございます。

かつらぎ町産の 農産物・加工品送料を支援

ふるさと応援便

農産物販売促進

概要

コロナ禍の中で落ち込んでいる農産物の販売を促進し所得向上に寄与するため、農産物の送料の一部を負担する。補助額の上限は1件当たり600円。予算の範囲内の補助とし、期間は令和3年5月から令和4年1月まで。

問

送料補助は、なぜ600円か。

産業観光課長 橋本市は送料の全額を補助した。送料の平均は1200円程度だった。本町は橋本市の1・95倍農家があるので登録事業者400件、

15万件という目標を設定した。橋本市と比較して全額補助よりはインパクトは薄いですが、町内のフルーツは長期にわたって収穫が可能なので、より多くの農産物を扱うことができる。

地元特産品を贈って町内事業者を応援しよう！
「かつらぎふるさと応援便」
実施中

かつらぎ
ふるさと応援便
～農産物販売促進事業～
地元特産品や加工品をお店に贈って感謝！
かつらぎ町を元気に
送りますか？ふるさと応援便
かつらぎ町産の美味しさをお店にお届けします！
送料が最大1日あたり600円まで！
お申し込みは、お電話またはお申し込み用紙でお申し込みください。
お申し込み用紙は、お電話またはお申し込み用紙でお申し込みください。
お申し込み用紙は、お電話またはお申し込み用紙でお申し込みください。



みずうら ときみ
水浦 言仁さん

フルーツの生産者として、宅配の取扱が多いので販路拡大につながります。今後とも継続してほしいです。

交通弱者への支援

概要

コロナ対策として交通弱者のワクチン接種支援について質疑が行われた。

問

免許返納などの高齢者である交通弱者への対策は。

参事(総務・厚生担当)

花園地域での対策を検討

中。

町長 他市町の取り組みを見守りながら検討したい。

通信ネットワーク整備

シビックセンター特別会計補正予算

概要

コロナ禍の中でインターネットを活用したオンライン会議や研修、講演会が急速に普及したため、総合文化会館にWi-Fiを設置して対応できるようにする。文化会館全ての会議室とホールで環境を整えるとともに、図書館にもフリーWi-Fiを設置する。

問

Wi-Fiの設備を求める声は強い。通信ネットワークを整備した公共施設の状況は。

生涯学習課長 伊都橋本で整備したという話は聞いていない。和歌山県民文化会館にはあると聞いている。

6月会議

6月会議(6/1～22)	
専決処分	2件
人 事	1件
補正予算	7件
条 例	5件
諸 報 告	3件
一般質問	8人

6月会議は、6月1日～22日の日程で行われ、池田八主雄教育長の再任をはじめ、税条例の一部改正や国民健康保険税条例の一部改正、介護保険条例の一部改正や一般会計をはじめとする各会計の補正予算などの提案、質疑、採決が行われた。議案は全て全員賛成で可決した。8人が一般質問を行った。6月会議から映像によるインターネット配信が始まった。

国保税決定

一人平均5200円減額に



「診察室はこちらです」(写真はイメージ)

概要

令和3年度の国民健康保険税は、農業所得が増えたことにより所得割の税率が下がることとなった。国保税で負担が増えたのは医療分の均等割570円のみだったので、ケースによっては、6万円を超える減額も生じる。ただし、所得が増えたことによって国保税が高くなるケースもある。

国民健康保険税条例の一部改正
改正により増額になる人も

1人当たりの税額

	令和3年度	令和2年度	比 較
基礎分	67,700円	67,000円	700円
支援分	31,000円	33,400円	△2,400円
介護分	36,800円	40,300円	△3,500円
合 計	135,500円	140,700円	△5,200円



問 農業所得の伸びによって保険税が上がる世帯はどれだけあるか。
税務課長 把握できていない。

延長

コロナ対策で

国保税と介護保険料減免



リハビリ中 (写真はイメージ)

国民健康保険税条例の一部改正
介護保険条例の一部改正

概要

新型コロナウイルス感染症対策として、令和2年度に引き続き、国民健康保険税と介護保険料の減免制度が延長された。ただし、前年度所得の3割減という条件も踏襲されたので、2年連続減免を受ける対象は少なくなる。県平均よりも減免申請が少ないところに課題があることも浮き彫りになった。

問 新型コロナウイルス減免を2年連続受けるのは難しいのではないかと

税務課長 2年連続となると前々年度の30%減、さらに令和2年度から30%減ということになるので、連続してコロナ減免を受けるのは難しい。

問 令和2年度のコロナ減免件数は17件で、県の平均より少ない。260万3900円の内訳と相談内容は。

税務課長 給与所得者3件80万2000円、農業所得者1件24000円、その他が営業等事業所得となる。相談はこの17件で減免決定した。

問 相談・減免件数が少ないのは、減免制度の一般的な周知方法では被保険者に理解されていないと考えられる。今までと違う周知方法が必要では。

町長 被保険者へのわかりやすく丁寧な周知活動は必要。町民が不利益と

問 国民健康保険の減免が17件、介護保険の減免は5件。どうしてか。

健康推進課長 2世帯分で金額は26万8700円。10件相談を受け5件減免という状況。年金からの天引きなので意識が低くなる可能性があると感じる。

町長 PRについては、どのような方法がいいのか、考える必要がある。

令和2年度減免実績

	件数	金額
国保	17件	2,603,900円
介護	5件	268,700円

ならないよう効果的な周知方法は今後の課題として取り組みたい。



かつらぎ総合文化会館での集団接種受け付け

新型コロナウイルスワクチンを

希望する町民の皆さんへ

一般会計補正予算

概要

新型コロナウイルスワクチン接種は、7月末までに希望する高齢者を終了できる見通しとなった。6月28日からは12歳から64歳の一般接種のための接種券送付が始まる。一般の接種券は一度に配布するが、年齢を区分して予約してもらうよう案内する。町外での職域接種、大阪での大規模接種会場での接種にも対応するとともに、基礎疾患のある人や町内の介護、障害者施設に勤務する人への優先予約も実施する。

問

12歳から64歳までの一般接種の課題と具体化している対策は。

健康推進課長 6月28日、対象者7200人に接種券を一齐に配布する。職域接種や大学での接種、大阪府の自衛隊などの大規模接種会場での接種が

始まるので、一度に発送するように変更した。クーポン券を持ってもらい、事務がスムーズに進むようにしたい。予約が殺到しないよう年齢の高いところから段階的に受け付け、個別と集団で接種を進める。基礎疾患を有す

問

接種状況は。

健康推進課長 6月22日8時30分現在で、高齢対象者6416人のうち1回目接種者3948人で61・5%、2回目接種者1897人で29・6%。

接種内訳は、集団接種者約1000人、個別接種者約2900人。

る約360人の先行接種を受け付けた。居宅の介護事業に従事する住民と障害者施設勤務の住民の人数についての把握はできていないが、先行接種の受け付けを行っている10月には希望する人への接種を終える予定。

移動手段のない人は 乗り合いタクシーで集団接種へ



集団接種会場でのワクチン接種

課題

新型コロナウイルスワクチン接種は、国の方針が二転三転する中で、本町の方針は、変更にくく変更を迫られてきた。6月の厚生文教常任委員会では、64歳以下の一般接種の方針を報告してもらった予定だったが、報告の前日、職域接種と優先接種と16歳の年齢を12歳に引き下げる新方針が出され、町は説明できなくなった。

繰り返される国の新方針に的確に対応しながら、事故なく確実に接種を進めることが課題になっている。

問

移動困難者対策は集団接種が対象で、5月27日の予約状況では集団17・7%、個別52・7%、多い個別接種を対象にしてはどうか。

町長 移動手段を確保できる人は個別接種で、確保できない人は乗合タクシーを利用して集団接種していただきたい。

問

ワクチン接種後、スポーツ参加ならびに海外への旅行等で接種証明書が必要な場合は、町で発行できるか。

健康推進課長 発行は可能である。ワクチン接種クーポン券にも臨時接種済証を添付している。

2回の接種が終了しているが、外出・手洗い・マスク等、これからの生活態度、さらなる心構えが必要に。早期終結を。



どうさか ざとし
堂坂 敏さん



ひらはら さちや
平原 佐治哉さん

新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいることはありがたいですが、経済が良くなることも願っています。

現地調査終了

概要

地籍調査は一筆地調査を令和3年度に終了した後、令和4年度に測量工程を終え、令和5年度に閲覧、令和6年度に法務局に調査結果を送付して全て完了する予定。ただし、国と県の補助金の減額によって事業が若干伸びる可能性もある。

問

今年度が一筆地調査最終年と聞いているが、調査は完了するのか。

地籍調査室長 測量工程を調整することにより、現地調査は本年度で終了する。



自身を囲む社会がどのような問題を持ち、どのように運営されているかをキャッチアップする事はとても大切だと感じた。(20代男性)

議会を傍聴して

コロナ対策

ひとり親世帯以外の世帯へも支援



対象になる世帯はぜひ申請を（写真はイメージ）

1. 令和3年4月分の児童手当または特別児童扶養手当を受給し、令和3年度分の住民税均等割が非課税である者（申請不要）
2. 1のほか対象児童（令和3年度末で18歳、障害児については20歳未満）の養育者であって次のいずれかに該当する者
 - ①令和3年度分の住民税均等割が非課税である者
 - ②新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、令和3年度分の住民税均等割が非課税である者と同様の事情にあると認められる者（家計急変者）

概要

ひとり親世帯以外の低所得者の世帯に対し、新型コロナウイルス感染症対策として子ども1人当たり5万円の給付金を支給する。国の制度で町内の対象世帯は1000世帯。このうち230人の子どもの想定して1150万円を予算化。対象世帯は左表のとおり。

給食時間にボランティア団体の協力を得て読み聞かせの音声を送るとともに、紹介した本も含め貸し出しの事業も実施する。人生をより深く生きる力を身につける上で読書活動が重要だという観点で取り組む。学力向上推進プランに読書を位置づけている笠田小学校で実施する。

概要

読書活動推進

問 本町の小学生の平均読書量は5・4冊、全国平均が11・3冊。この差をどう捉えているか。
教育長 学校図書館利用に二極化が生じており、学校図書館を利用する子どもと、全く利用しない子どもに分かれる。学級図書を利用し図書館を利用しない傾向もある。子どもたちの中には、発達段階に呼応する本を読んでいる。読書の成果をもとに来年以降も取り組みを広げたい。



笠田小学校の図書館

条例施行から3カ月 手話通訳者増員へ



手話奉仕員養成講座

概要

会計年度任用職員としてこれまで1人配置されていた手話通訳者を新たに1人雇用する。聴覚障害者等への手話通訳や相談・生活支援、手話通訳者の派遣コーディネートおよび手話奉仕員の育成などを行う。

条例施行に伴うもので、聴覚障害者だけでなく多様な障害に応じたコミュニケーションを支援する体制として充実する。176万2000円を予算化。

問

手話を日常会話の手段としていない聴覚障害者は数多くおり、要約筆記が必要な場合があるが、町へ派遣を頼めるか。

住民福祉課長 筆談については対応できる。要約筆記を必要とする聴覚障害者についてもケアしていく。

問

今回の新型コロナウイルスワクチン接種で、聴覚障害者の支援はどのようにしているか。

住民福祉課長 障害者団体もしくは障害者個人と直接連絡をとり、要請があれば同行する。



さちよ 原代 幸代さん

通訳者が役場にいるときもあり、2人いてくれたらと思っていました。本当? 夢みたい! というです。

空き家対策進む

概要

町内には数多くの空き家があり、特に危険な空き家は法律に基づいて「特定空家等」に指定される。取り壊すための補助制度もある。

今回の補正予算は、特定空家等の所有者が確知できないため略式代執行で取り壊すもの。除却工事費123万円。

問

把握しているケースは。

建設課長 現在、略式代執行の案件は提出議案以外にない。空き家の相談や通報は25件。除却や補修の対応をしたのが4件、相談・対応・依頼をしているのが19件。令和3年度の不良空家の除却に対する5分の4補助、上限50万円の制度を活用した事業は、2件を認定して実施中。



停留所で時刻表を確認する委員



指定管理者から説明を聞く



デマンド型乗合タクシー

4月1日から利用者の利便性の向上と効率的な運行を図るためデマンド型乗合タクシーが導入され、コミュニティバスを5コースから3コースに再編した。町民が利用しやすいのか、どんな課題があるのか2班に分かれて乗車し、停留所や乗り継ぎなど協議した。

デマンド型乗合タクシー・コミュニティバスの体験乗車

4月20日、5月18日、6月3日委員会を開催。内容は次のとおり。

総務産業常任委員会

現地視察

（道の駅くしがきの里）

新たに町内の指定管理者が運営しているのので、管理者から「現在商品のうち80%が町内生産者で、さらに高めたい」など運営方針を聞いた。その後、看板、トイレ、商品案内などについて協議した。

防災ラジオ配布状況

5月14日時点の引き換え率は76%。町民の生命と財産を守るため全戸配布に向けた取り組みを協議した。特に約1000件の事業所への保証金預かり方式による貸与について質疑した。



水道事業経営戦略

水道事業の現状と将来的推計に基づく令和12年度までの経営戦略について、上下水道課からの報告を受け、内容等について質疑を行った。

内水対策事業

紀の川の河道掘削を平成26年度から毎年取り組み、1から1・5メートル河床が低くなるが、増水で土砂が堆積するので毎年継続する必要がある。紀の川へ流れ込む7つの河川に25台のポンプを設置している。

第4次かつらぎ町長期

総合計画の後期基本計画アクションプランや、中飯降地域における林地開発での産業廃棄物撤去の経過報告など説明を受け協議した。



町内の介護老人福祉施設

厚生文教常任委員会

6月4日委員会を
開催。

ワクチン接種の報告 を受ける

健康推進課から新型コロナウイルスワクチン接種について、現状報告を受けた。本町は、11の医院による

個別接種を優先させ、一定の接種実績が生まれた状況を踏まえ、集団接種を開始した。それでも初期の段階では医院への電話の集中があったので、一般接種の段階では、年齢ごとに予約の実施をずらすなど工夫を行うことが報告された(接種状況

は、6ページ参照)。

また中飯降で実施されている林地開発事業で産業廃棄物が土砂に混入されていた件の報告を受け、意見交換が行われた。

委員会では、紀北分院と町との連携を探索することにしてはいたが、長引く新型コロナウイルス感染症状況の中で調査や懇談を進めることが難しいので、こども園と介護施設の現状や課題をテーマに事務調査を進めることを確認した。

お詫びと訂正

議会だより89号中12頁へ掲載の採決状況に一部誤りがありましたので、お詫びし訂正します。

・表決表のタイトル

(誤) 賛否が分かれた決算は9会計中5会計

(正) 賛否が分かれた予算は9会計中5会計

・表決表の結果欄

(誤) 認定

(正) 可決

議員定数・報酬調査特別委員会

6月会議で「議員定数・報酬調査特別委員会」を設置した。構成は議長を除く全議員。

委員

委員長 松岡 宏行
副委員長 福井 強太
委員 溝北 好一
宮井 健次

東芝 弘明
赤坂 岩男
浦中 隆男
新堀 行雄
氏岡 誠
福岡久二子
小林 総一
藤本 憲一

議会を傍聴
してみませんか
&
ご意見募集!

9月会議は、9月上旬からの予定です。本会議傍聴は、事前に申し込む必要がなく誰でもできます。委員会傍聴は、委員長による許可制(基本的には傍聴可)なので議会事務局にご連絡ください。具体的な日程は議会事務局にお問い合わせください。議会だよりへのご意見なども募集しています。ご意見は紙面に掲載することがあります。

追跡 あの一一般質問 はどうなった？



追跡 2

令和元年6月会議

避難所・避難場所に看板

Q 風水害と震災とは対応の仕方が違うので、避難所・避難場所にこのことを明示するよう看板の改善を求める。

A 避難所・避難場所の看板を点検し、看板のない箇所については、設置していく。避難所・避難場所がどのような災害に対応できるかわかりやすい看板を検討。

その後



避難所・避難場所に看板設置。

追跡 1

平成29年3月会議

空き家撤去費用に補助を

Q 空き家撤去はなかなか進まない現状にある。経済的負担がその大きな要因となっている。ごみ処理費用等に補助をしている自治体が県内でも複数出てきており、その実績を紹介し、早急に制度を作り実施することを求める。

A 空家等対策の推進に関する特別措置法の制度に沿って進めていく。財力のあるものに補助を出すのはどうかと思うので、法に基づく処理を進めたい。



放置された空き家（写真はイメージ）

その後

令和2年度中に要綱等を定め、令和3年4月1日から運用。認定した不良空き家に対して、撤去費用の一部を補助する。



ふじおか 藤岡 としただ 稔忠さん

不良空家除却補助事業が創設され、各自治体の問題が順次解決されることに期待します。住みたい町1位を目指して。

追跡 3

令和2年6月会議

災害備蓄食料に液体ミルクを

Q 乳幼児用液体ミルクを備蓄品として整備することを求める。

A 乳幼児を守る有効なものとする。関係各所と連携し、導入を前向きに考える。

その後



令和2年9月に備蓄食料として、乳幼児用液体ミルク(240ml)を96本導入した。

これが配信の仕組みだ

マンパワーで配信

傍聴席から見るとビデオカメラは傍聴席の中央に1台、議場の右側に1台、右側の高い所にある録音室に1台の計3台配置されている。音声は議場のマイクシステムを活用している。

録音室には映像をリアルタイムで表示するパソコンがあり、ビデオカメラを切り替えている。発言している人の名字と肩書、一般質問の場合は上に質問テーマが表示される。

パソコンで
テロップを
瞬時に挿入

マンパワーによる
映像配信で
費用を縮減

自治体議会の映像配信は、インターネットの普及によって広がっている。検討したビデオカメラを自動で切り替えるシステムは約2000万円の費用が必要だといわれ、さらに撮影時には映像を映す人件費が必要だった。

本町議会は、映像配信を業者委託することによって、マンパワーで実施することにした。この方式によって年間355万円（5年間の機材維持管理費含む）の費用に収まった。



録音室で映像を配信しているスタッフ

より見やすいように
映像を区切って
録画配信

議会をリアルタイムで配信すると、テロップなどが間に合わなかったり、休憩部分が残ったりする。これは避けられない。

10日後をめどに実施している録画配信は、視聴者がアクセスしやすいように、テロップをさらに追加する、休憩部分を削る、画像を見やすいようににチャプター（区切り）とインデックスを付けるなど工夫している。

今回、映像配信が始まったことにより、今まで傍聴機会の少なかった若い人たちにも、議会に関心を持ってもらえたいと思います。



なかおか けんじ
中岡 憲治さん

広報広聴特別委員会を中心に、誰でも傍聴できる環境を整え、議会の内容を伝えるとともに皆さんの意見等を把握し、議会活動への反映を目指すため、インターネット配信を検討してきました。

この配信が、皆さんにより身近に議会を感じていただくことにつながれば幸いです。ぜひご覧ください。



議長 大原 清明

ぜひご覧ください



議会映像配信スタート

映像配信は、3台のビデオカメラで質問者と答弁者を切り替えて撮影する方式で始まった。映像は議会のホームページやYouTubeで見ることができる。

パソコンの場合

パソコンの場合は、かつらぎ町議会映像配信で検索すると下の画面にアクセスできる。

かつらぎ町議会映像配信

新着情報

2021年6月30日 かつらぎ町議会 ライブ中継

2021年6月30日 令和3年第1回定例会6月会議



視聴希望の方は上記をクリックしてください。

スマートフォンの場合



スマートフォンで上の二次元コードを読み込めば映像配信にアクセスできる。

一般質問

町民のおもいを届ける60分

一般質問は、議員が事前に提出した通告書に基づいて、町政に関する提案や質問を行うもので、持ち時間は一人60分。なお、記事は、質問者の責任において作成されたものである。



中阪町長



ページ	質 問 事 項	質 問 議 員
17	広報紙を全世帯と事業所に配布を	松岡 宏行
18	移住、田舎暮らしのための木工・木育事業	溝北 好一
19	観光案内看板の改修と設置を	浦中 隆男
20	ヤングケアラー対策の実態調査を	宮井 健次
21	人口増の長期総合計画を	東芝 弘明
22	第三者行為求償を実効あるものに	福岡 久二子
23	計画的な防犯カメラの設置を	新堀 行雄
24	図書館に除菌機設置を	藤本 憲一



広報紙を全世帯と事業所に配布を

町長 全世帯への配布は理想、大きな課題



松岡 宏行 議員

問 広報紙の発行目的と配布方法、配布率は。

総務課長 町政の方針や施策など町民に知らせて理解を深めるため、自治区や町内会で配布。7151世帯のうち5949世帯で、83%。

問 課題は全ての世帯に配布できない。公共サービスの観点からは。

参事(総務・厚生担当) 公共サービスの一つで市町村が果たす責務である。未配布の町内会未加入者などへは公共施設の設置配布、ホームページなどで閲覧できる。

問 法人町民税の目的と課税数は。

税務課長 自治体から受ける行政サービスに対する負担。294法人。

問 法人などに課税するならば、広報紙を配布する責任があるのでは。

参事(総括担当) 責任はある。広報紙を配布していないが情報を発信しているの責務を果たしている。



広報かつらぎ

問 大阪市住吉区は、各世帯、事業所に高齢者の見守り活動などを

目指してコミュニティビジネスに取り組み配布している。町内会での配布で見守りなどの成果もあるが、未配布の1200世帯へ郵送、シルバー人材センターなどの方法で早急に取り組むべきでは。

町長 全世帯への配布は理想。住民票や課税に関係なく研究・検討する必要がある、大きな課題である。

高齢者等見守り

配食サービスの充実を

問 高齢者等見守り配食サービスの内容は。

健康推進課長 介護保険事業で見守り確認することで孤独感の解消、孤独死の防止。65歳以上で安否確認が必要な35人が利用。週3回450円の自己負担で弁当を配食。事業者は1件330円の委託料。

問 利用者アンケートは。緊急連絡事例は。

健康推進課長 21人の回答。8割以上が満足。風呂場で動けないのを発見し、親族に連絡して対応した。

問 課題は。

参事(総括担当) 介護保険以外に見守りが必要な町民は多数いる。配達時間に遅れること。

問 社会福祉協議会の配食サービスは。希望理由は。

住民福祉課長 調理などが困難なおおむね75歳以上の一人暮らし。月2回で1回200円の負担、約180人が利用。高齢で買物・調理が困難、75歳以下で視力障害者など。

問 介護保険制度だけでなく、障害者など課題のある町民に拡大しては。

町長 社会福祉協議会の配食サービスを充実できるよう検討したい。

問 山間部の配送は人件費等約2000円、330円では持続不可能。不足分は誰が負担するのか。

町長 行政サービスは地域によって差があつてはならないと考える。

移住、田舎暮らしのための木工・木育事業

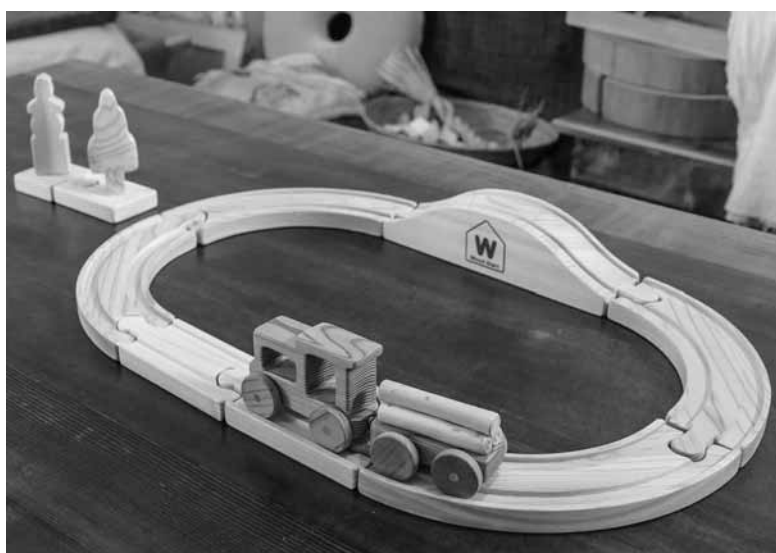
町長 豊富に存在する木材資源の有効活用検討



溝北好一 議員

- 問** 本年住んで良かった町、県下ナンバーワンの町になったが、移住者の実態は。
- 企画公室長** 町の受入協議会を通じては直近3年で6人、地域直接移住は別途9人である。
- 問** 県・町で移住推進策は。
- 産業観光課長** 当課員が相談から受け入れまで連携する。また8地域に受入協議会設置。さらに空き家バンク登録の窓口でもある。主な支援内容は移住推進空き家補助金等、主に5項目の施策がある。
- 問** 他の市町村施策との比較対策は。

- 産業観光課長** 世界遺産の町、美しい自然があり交通が良い。
- 問** 本町はフルーツ農業の町、豊富なヒノキ・杉がありながら木の産業が少ないが。
- 町長** 町の65%が山林でかけがえのない財産である。間伐材・成木を活用した木工事業は成立していない。
- 問** 旧花園村では木の事業展開はいかがだったか。
- 参事(建設・産業担当)** 以前は地域風土に合う生活用品を活用した生活スタイルの変化で木の活用が減少し事業者も減少。三次産業の創設が必要かと。
- 問** 杉やヒノキ本来の木の良さ、木の命を利用した産業の創設は。
- 町長** 木の良さ、文化への理解を深め、森林が再生可能資源であることを学ぶ「木育」教育が重要。
- 問** 「木育」とは。
- 教育次長** 幼児期から木と関わることにより、親しみ理解を深め生活に取り入れ、森づくり等に貢献する人材を育成。こども園・児童館・小学校では木の遊具等を活用している。
- 問** 木で遊び学び育つ「木育教育」が継続的に必要では。
- 教育次長** 県の協力で小学5年で木工体験や緑育推進事業を実施。今後は公民館活用での木育を協議したい。
- 問** 「木育」木の本来的な活用、木工教室等に移住者協力も可能では。
- 教育長** 県下8割が山地、木の国を生かし豊かな情操を育む教育。町内でも学校教育のみならず社会教育でも展開。町民全体に木育の意義が広がれば。



高野町が採用している新生児誕生祝いの木工列車

- 問** 木を求め、田舎暮らしを楽しむため移住。自然財産をもっと生かすまちづくりが必要では。新たな産業の構築は。
- 町長** 木を求め移住する人、田舎暮らしを楽しむ人。本町の森林資源をさらにアピール、生業としての林業の環境は厳しいが、木材の利用はカーボンニュートラルとして大きく温暖化対策に寄与できる。SDGs(持続可能な開発目標)の達成観点からも木材資源の有効活用を検討する。

観光案内看板の改修と設置を

町長 早期改修と設置を考える



浦中隆男 議員

問 道の駅などの利用者、全て観光客とするのは適当ではないと思うが。

町長 古くからその項目で集計している。多くの町では同じ項目で集計するのが通例。本町の道の駅は観光客を対象とした商品を取り扱っていると言える。一定の妥当性はある。

問 本町の観光客数は近年、高野町と肩を並べるようになってきている。観光客の集計で「その他」の人数が突出しているが。

産業観光課長 「その他」は道の駅と直売所などの入込客数の集計数値である。



京奈和自動車道や花園地域の表示が無い、かつらぎ公園の看板

問 世界遺産等の活用と観光周遊ルートとの構築は。

町長 本年度周遊ルートの構築を業務委託している。多彩なコース作りが必要になる。例えば3時間コースで自転車・徒歩・車で回るのであれば、こういうルートになる、というような推奨ルートを構築する。

問 観光案内看板には現状と大きく違う表記の物がある。かつらぎ公園にあるマップには花園地域の地図は無い。道の駅「万葉の里」

問 道の駅「くしがきの里」に観光看板設置の考えは。

町長 設置をする方向で検討したい。

のマップには京奈和自動車道も載っていない。施設名称の変更や廃業し営業していない施設も表記されている。修正するべきである。

産業観光課長 早急にできる部分は対応する。

町長 京奈和自動車道や府県間道路が開通してから情報が載っていないのは、かなり不備である。早急に対応を考えたい。



町の所有となっている旧花園温泉

旧花園中学校・花園温泉の活用は

問 旧花園中学校の有効活用は。

企画公室長 公募型のプロポーザルで募集しているが貸付に至っていない。引き続き民間での利用を検討している。

問 旧花園温泉の活用は。

花園地域振興課長 問い合わせは3件あったが、活用には至っていない。活用するとすれば全面的な改修等が必要となる。

町長 花園地域には多様な宿泊施設がある。新たに費用を投じて改修し、町が主体となつての活用は考えていない。民間による活用が見込めなければ、建物を取り壊す方向で考えていく必要がある。

ヤングケアラー対策の実態調査を

教育長 実態調査を行う



宮井 健次 議員

問 ヤングケアラーという言葉が最近マスコミ等の報道で増えているが、定義はあるのか。

教育総務課長 法令上の定義はないが、18歳未満の子どもが、本来大人が担うような家族の介護や世話することで、子ども自身がやりたいことができないなど子どもの権利が守られていない状態にあることだ。

問 現実には、このような実態は見えない。背景には、現代の少子高齢化の中で家族構成の変化がある。結果的には大人がやるべき介護とか医療を子どもが担わなければならない現実がある。

もが担わなければならない現実がある。

全国の市町村にある「要保護児童対策協議会」（以下、要対協）が、令和元年にヤングケアラーと認識している要対協がたった3割、また、ヤングケアラーの4割以上が1日5時間以上介護や世話を行っており、3割以上があまり学校に行けない。

本町の要対協のアンケートに対する回答では、42件の相談事があったが、ヤングケアラーに関する相談事はなかったと回答している。

本町の要対協は、ヤングケアラーの概念の認識も実態も把握しているとの国のアンケート調査に回答しているが、実際のところわからないということか。

教育総務課長 実態調査では、ヤングケアラーについての認知度は芳しいものではなかったように思う。

問 要するに、要対協自身の意識改革をしないと、この問題は浮き彫りにならないといえる。本町でも実態調査をすべきではないか。

教育長 実態調査を実施する予定だ。啓発も兼ねて、教職員、生徒に分けて実態調査をしていきたい。

問 支援する担当部署の設置は。

教育長 当面は、要対協を窓口にして、ヤングケアラー対策をしていきたい。

問 去る5月17日、

政府はヤングケアラー支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム（厚生労働省と文部科学省PT）を立ち上げ、①早期発見、把握②支援策の推進③社会的周知の向上の3点の方針を発表している。実行する確約はできるか。

町長 実態の把握をま

ず行い、その後教育委員会と連携しながら支援を行いたい。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている

その他 コロナ禍が続く中で町民の生命とくらしをどう守るかにして質問した。

人口増の長期総合計画を

町長 人口増を計画に盛り込みたい



東 芝 弘 明 議員

問 人口は減少しているものの、2020年の推計値よりも国勢調査人口の方が多かったが。

企画公室長 京奈和自動車道や国道480号鍋谷峠道路の開通などにより生活圏が拡大した。子育て支援施策を多く実施しているという点も要因の一つではないか。

問 2020年度は、前年度より転入が73人増えたが。

町長 政策がある一定評価をされているのではない。本町が特に車を対象とした交通の要所として認められてきていると思っている。

問 新しい長期総合計画は、第4次長期総合計画の調査結果と見比べ、意識がどう変化したのか分析する必要がある。学校給食費を半額負担にするだけで大きなインパクトを与える。さらに子育て支援に力を入れるべきでは。

町長 子育てにもユニバーサルデザインの考えが必要になる。給食費をもう少し値下げできるように、財源と相談しながら取り組む。

問 今、分譲住宅が売れ、人口が増える傾向がある。町長の公約で一番目立つのは人口2万人計画だが、2万人計画の具体化について指示があったかどうか。

企画公室長 人口対策については、町としてどう取り組むか、検討する会議を開催している。人口動態の分析や有効な施策について、

さまざまな検討を行うよう指示を受けている。

問 四つ提案したい。一つ目は、第5次長期総合計画の中に人口増の計画を盛り込むこと、二つ目は、笠田高校とJ.Rの存続を前提としたまちづくりを打ち出すこと、三つ目は、子育て支援をさらに推進し、移住・定住しやすい環境をつくること、四つ目は、町外に向け本町の魅力を積極的に発信することだ。こういう中で人口増の長期総合計画を作ってほしい。

町長 人口増については計画に盛り込みたい。シングルマザーを含め弱者に手を差し伸べるような、制度の手厚い自治体に若い人が集まる傾向にある。若い人が住みやすいと思える町に取り組みきたい。



子育て支援の充実で魅力あるまちづくりを

その他 後期高齢者の健康調査の内容を、国民健康保険の特定健診と同じ内容にすべきという質問も行った。

お詫びと訂正 12月の一般質問で高校再編問題に対し「PTAの方は笠田高校がなくなるということを

前提に話をされて、それに対して教育委員会が答えるという図式になった」と発言しました。しかしPTAは、廃止を前提に反対したのではなく、懇談会で意見交換が行われたということでした。一般質問の冒頭、お詫びし訂正しました。

第三者行為求償を実効あるものに

町長 事務のボリュームと内容を研究する



福岡 久子 議員

問 第三者行為求償とは、交通事故などで国保が出した治療費を加害者や保険会社に請求するもので、国保会計の歳入確保として重要。町の事務は。

健康推進課長 和歌山県国保連合会からくる第三者行為の疑いあるもののリストを基にレポートを確認し、本人から傷病届を出してもらい、連合会へ求償事務を委託する。

問 第三者から国保に支払いのあった額が決算附表に載っているが、この実績表は意味がわかりにくい。
健康推進課長 変更は可能なので、わかりや

すいものに替える。

問 連合会からのリストを基に事務をするだけでは受け身の仕事だ。リストに載ってきいていないものの可能性を追求することが肝心。

第三者行為求償アドバイザーの資料によれば、例えば令和元年度の本町の求償実績は4件となっているが、交通事故数から積算・想定した数は少なくとも11件となっている。どう評価するか。

健康推進課長 交通事故故は、発生場所が町内でも町民が関係した事故とは限らない。京奈和自動車道での事故が増えている。町外の人

問 そういったことも、警察への問い合わせで調べることができ。委託するまでの作業が町の責務である。想定された数は最小限

のものだ。保険会社に責任を果たさせて国保行政を守る意味でこの数字を目標に仕事をしてほしい。保険料を支払っている町民が損をこうむる。実務上の困難さは。

健康推進課長 膨大な事務量となり、今の体制では困難。国保税を支払っている人々に影響あることなので、届け出の必要性の広報を徹底したい。

問 町長はこの事務のために人員を置くことも視野に入れると、過去に答弁しているが。
町長 今の体制で十分であるという認識はない。費用対効果では測れないが、事務のボリュームと内容を研究する必要がある。

女子トイレに生理用品を

問 「生理用品を購入できない、ためらった」が36%という調査結果。お金の問題以外に恥ずかしいという理由も。置かない理由は。
教育長 保健室で備え、養護教諭や担任が把握トイレ個室に置く。一人一人が見えてこない。なぜ必要かを知ることが教育として大事。

問 声を出せずにいる人にとってどれだけ助かるかをわかってほしい。政府が生理の貧困の支援を決めたが、町長の見解は。
町長 困窮者への無償配布の必要性は高い。一律的な対応でなく、どんな支援策が可能か検討したい。



生理用品を備えている学校保健室（写真は笠田中学校）

計画的な防犯カメラの設置を

町長 計画的に設置できれば



新堀 行雄 議員

問 町が設置、管理している防犯カメラは何台か。

総務課長 平成27年から令和3年にかけて29台設置した。

問 警察からの照会はあるのか。

総務課長 年に10数件ある。

問 令和2年度にJR笠田駅の2台が故障のため取り替えとなっているが、その経過は。
総務課長 平成27年度に笠田駅に4台設置された。平成31年に警察からの照会があり、故障が判明し、令和2年度に取り替えた。



安心安全を見守り続ける防犯カメラ

問 防犯カメラの保守点検は行っているのか。

総務課長 行っていない。

問 警察の照会があるまで故障がわからない。また、いつから故障していたのかもわからないということになる。住民の安心安全を守るためにも保守点検は必要と思うが。

町長 保守点検ができていない今の状況はよくない。最低でも2年に1回程度は行うべきと考える。

問 不審者情報が年に10〜15件ほどある。

警察から防犯カメラの照会も年に10数件ある。また犯罪率も県内で上位にある。これらのことからまだまだ安心安全な本町とはいえない。防犯カメラの計画的な設置を。

町長 防犯に対する対策を高めていく必要がある。関係者と協議しながら計画的に設置できればと考える。

移住・定住支援

問 人口バランスを考えた施策はあるのか。

企画公室長 高齢化率が年々高くなっていることから、主に子育て世代を対象とした支援・施策を多く実施している。

問 人口バランスを考えた施策に対する町長の考えは。

町長 人口減少対策を進めるためには未来のかつらぎ町を支えていく若者世代の定住が最も重要課題である。また、高齢者や障害者が安心して暮らせる、さまざまな施策を実施することが必要である。住民満足度の向上を目指してバランスよく施策を実施していきたい。

問 3世代が同居または近居する場合に補助金を出して、人口バランスの取れた町にしていこうという考えがある。人口バランスを考えた施策もまちづくりの上では大変重要であると考えるが。

町長 3世代同居や近居することで子育ての負担が軽減される。また、子どもの成長には祖父母の関わりが有効であることから取り組みは有効であると考えている。今後さらなる移住・定住施策の推進を行い、この町で育った若い世代がこの町に住もうと考えてもらえるような施策を検討していく。

図書館に除菌機設置を

町長 効果や効能も踏まえ
費用対効果も研究する



藤本 憲一 議員

問 新型コロナウイルス感染症予防が叫ばれている。不特定多数の利用者が利用する図書館のコロナ対策、特に本の消毒はどのようにしているのか。
生涯学習課長 返却された本1冊ずつ表紙を消毒剤で消毒している。また、職員は手袋をはめ、貸出利用券や本を直接触らないような対策を取っている。

問 図書の本は、表紙を除菌用フィルム加工している。しかし、本の中は紙なので消毒液では無理である。近隣では、紫外線を利用した除菌機を設置して、貸出者に利用を進めている。本町も導入して

は。
教育長 現在約8000人の図書館利用登録者があり、年間約5万冊の図書の貸出をしている。利用者により安心して図書館を利用してもらおう環境整備は重要と考える。今後、有効性、コスト面、さらには実施している図書

館の利用者の意見も聞きながら検討したい。
町長 私も読書はする。読書の大切さは認識している。除菌機については、効果や効能も踏まえた上で費用対効果も含め研究する必要がある。教育委員会とも相談しながら進めていきたい。



6冊の本を30秒で消毒できる紫外線利用の除菌機
(紀の川市立河北図書館)

町ゆかりの人物を 「ふるさと教育」の教材に

問 自分の郷土から生まれた、また、活躍した歴史人物を自慢できる、誇れる気持ちを芽生えさせるようなふるさと教育が必要だ。それが、町のために働きたい、地域に恩返しをしたい若者が増え、町の活性化につながる。

町ゆかりの人物を題材にした昔話、おとぎ話を作成依頼できる団体があるか。
生涯学習課長 町内では文化財研究会、笠田万葉サークルがあり相談は可能だ。

問 各研究グループの協力で教材の作成を。
教育長 貴重な教材になり得る。その人物が社会や人々にどのような影響を与えたのか等を追求する中で、関心や調べる意欲が高まり、郷土についての深い学びにつながる。多様な活用方法を駆使しながら、各校のふるさと教育の貴重な教材として検討したい。

「議会だより かつらぎ」 表紙写真を募集



皆さんに親しまれ、さらに身近に感じられる議会だよりにするため、表紙写真を募集します。

ケイタイからも応募が可能です。
あなたの記念の一枚！お待ちしております。

内容 町内で撮影された人物やイベントの写真

方法 住所・氏名・連絡先やタイトルなどを記入しメールなどで応募が可能

詳しくは かつらぎ町議会事務局

住所：〒649-7192 かつらぎ町丁ノ町2160番地

電話：0736-22-0300(代) FAX：0736-22-0604

ホームページ：<https://www.town.katsuragi.wakayama.jp/gikai/>



今まで掲載された写真の一部



新規採用職員が議会を傍聴

本町は、新規採用の職員研修の一環として、議会傍聴を毎年6月に実施している。今年は6月22日の本会議を2人の職員が傍聴した。

かつらぎ町職員として議会を傍聴させていただき、町が抱える課題や改善点について広く議論がなされていると感じました。特に、新型コロナウイルス感染症に関わるワクチンの大規模接種や税の減免状況について、丁寧に質疑応答されている姿が印象的でした。

これまで議会に関心を持つ機会は少なかったですが、自分たちの住む町がどのように運営されているかに注目することは、大切だと思いました。

かつらぎ町において、セルフメディケーション税制や新型コロナウイルス感染症の影響による減免制度など、住民が必要とする制度が多数ある。これらの制度は広報や納税通知書、防災ラジオや町メールなどを活用して広報が図られているが、一方で制度の利用者は多くない。特に制度自体を知らない方がいることが今後の課題であるとのこと。制度の潜在的対象者の存在を予測し、さらに効果的な広報活動などが求められると議論されていた。



令和2年度

議会モニターの声

「1年間を振り返って」

町民の声を議会運営に反映するため、議会モニター制度を実施している。
提出された感想等レポートの一部を抜粋し、原文のまま掲載する。



議会及び委員会において、タブレットやPCの使用を導入し、ペーパーレスを進めていくべきと考えます。また議員報酬のアップや定員削減も行うなど、有望な人材が集まるような方法があればと思います。町の経済をもっと強くするための施策が多く必要かと思えます。町民の安全や健康は大変重要なことですが、生活を支える経済が強くないことには、未来がない町となってしまいます。
(30代男性)

(回答)
「議員定数・報酬調査特別委員会」を6月に設置しました。

かつらぎ町のホームページは音声でホームページを読んでいる者にとっては、あまり読みやすいページではないようです。合理的配慮が法律で定められている時代、これだけ誘導ブロックや音声案内が少ない自治体は珍しいと感じています。
今後は、健常者の方が良かれと考えてくださったことは実はとても不便だったり、不必要だったりすることがよく在りがちですので、健常者の目線だけで眺めるのではなく、障害を持つ者の生の声を吸い上げていただけるようなモニター活動になればと願っております。
(60代男性)

数回しか傍聴できていないのですが、その中で感じたことは「資料が多い」ということです。少しずつデータ化は進んでいることだと思いますが、さらに推進することが議会のスムーズな運びとなり、また議会の配信にも役立つことだと思います。公開できるデータはホームページなどに載せることで、興味のある方は見やすくなると思います。
(30代男性)

活発な委員会もあれば、何も発言しない議員がいる委員会においては疑問しか出てこない。また録画内容を配信するのであれば、難しい用語などは誰にでも分かるようにコメント等を充実することを望む。
(40代男性)

「議会だより」のモニターの声を読ませていただき、他の方の考えや議会への関心の気持ちがわかって良かったです。
(70代女性)

議会傍聴で、私たち一般人が突然に聞いても意味がわからない様な所もありました。
(70代女性)

「議会だより」を読むことで、私たちが投票した議員の一票の重みも知ることができて良かったです。これからも是非「議会だより」を読む大切さを私は広めたいと思いました。
(70代女性)

老化難聴は当事者にとって厄介なことは、音が聞こえても会話の内容が理解しがたいことです。社会生活に共存（生きる）資格がないのではと、自信を無くすこともあります。イヤホンや簡易配線で各人が持参のイヤホンを利用できれば安心して傍聴ができるのではないのでしょうか。ご検討いただきたく、モニター制度は開かれた民主議会として素晴らしいことです。時間がかかっても参加者の増えることを切望いたします。
(80代男性)

議会一般質問を傍聴して感じたのは、町の答弁は簡単明瞭的確な答弁を求めます。
(70代男性)

(回答)
参考資料などが特徴であり、他の議会より充実しています。なお、今後のペーパーレス化等について、委員会でも議論しています。



主な内容は、議会映像配信に向け町側意見の検討を行い、町および委託業者と最終打ち合わせを実施。さらに、議会映像配信に関する要綱（案）の審議を行った。
令和2年度議会モニターとの懇談会中止を受け、モニターから1年間の活動レポートを提出願ひ総括を行った。

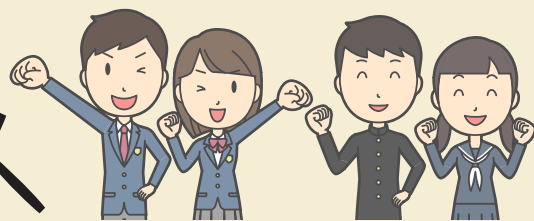
4月6日、5月11日、6月8日
日委員会を開催。

広報広聴
特別委員会



紹介

がんばる人



これからの「**かつらぎ町**」を**担う**のは**君**だ！

次世代シリーズ「がんばる人」は、スポーツや文化活動などでがんばっている子どもたちを紹介します。学校の中だけでなく、民間や地域団体、個人でがんばっているのもOKです。

- ①頑張っていること
- ②始めたきっかけ
- ③将来の夢
- ④かつらぎ町の好きなところ



- ①父と一緒に農業を頑張ることです。
- ②祖母が農業をしているのが格好良かったから。
- ③祖母のようにおいしい野菜を作ることです。
- ④みんながとても親切にしてくれるところです。

渋田小学校6年
たかまつせい太
高松晴太さん



- ①こん虫を育てることです。
- ②3歳の時にクワガタを見たのがきっかけです。
- ③自衛隊員になることです。
- ④自然がいっぱいあるところです。



梁瀬小学校6年
にしともひろ
西 智弘さん



- ①皆と協力して描いている絵の製作です。
- ②先輩方の活動する姿に感銘を受けたからです。
- ③人の助けとなる職業に就きたいです。
- ④自然が豊かで地域の方々が優しいところです。

笠田中学校3年
めらかなみ
目良佳奈美さん

